

日時：令和6年11月25日(月) 9:30~10:30

場所：グループホームひのくち

出席者：ご利用者様、東町自治会会長様、利用者ご家族
燕市役所職員、管理者、サービス管理責任者

1. 開会
2. 出席者紹介
各自自己紹介
3. 会議の趣旨、目的について
口頭で説明
4. 施設見学、報告
・施設見学
・BCP(業務継続計画)の策定について別紙資料により説明
・事業報告・財務報(令和5年度)について別紙資料により説明
5. 出席者からのご意見、ご要望
自治会長様：東町24組に現在住んでいる家は26件。組長は毎年交代のため、地域に目を配る方もいれば、そこまで関心を示さない方もいる。
管理者：ひのくちがサービス開始する際の住民説明会では、障がい者を対象としたグループホームができることに不安を訴える方もいたと聞いたが、現在の状況はどうか？
前におられることがあるが、近隣の方からの苦情等はありませんか？
自治会長様：今のところ住民から、事業所や利用者に対する苦情や意見は聞いていない。
ご家族様：妹がひのくちを利用している。
入所施設から、より自由度の高いGH利用の話をいただき、現在ひのくちを利用している。本人にとっても良かったと思う。一時は実家をグループホームに改装して生活するという話もあったが、近隣の住民からの理解が得られず実現しなかった。
今の生活も地域の住民の方の理解がなければ成り立たないと感じている。
市職員：事業報告内の地域生活支援拠点の話の中で、緊急の受け入れ以外に、希望すれば地域の居室の居室の利用も可能だと受け取れる部分があったがその解釈で良いか？
また、そうであればその件について地域の方に周知しているか？
管理者：緊急時の受け入れ、GHの体験利用以外のいわゆる一般の方の居室の利用はできません。
利用者様：特に意見はありません。少し緊張しました。
6. 閉会

令和6年11月25日

記録作成者：管理者

日時：令和6年11月25日(月) 13:30～14:30

場所：サポートハウス若生

出席者：ご利用者様、利用者ご家族2名、若生町自治会会長様、

若生町次年度会長様、燕市役所職員、管理者、サービス管理責任者

1. 開会

2. 出席者紹介

各自自己紹介

3. 会議の趣旨、目的について

口頭で説明

4. 施設見学、報告

・BCP(業務継続計画)の策定について別紙資料により説明

自治会長様：災害時の一時避難所が若生町会館となっているが、耐震構造に不安があり、

収容人数にも限界があるため、自治会としては一時避難所は別の場所を検討中。

その後の避難所としては、指定緊急避難場所となっており、避難経路も通学路と

なっており吉田北小学校が子供を連れて避難した場合、比較的完全に避難できると

考えている。

・事業報告・財務報告(令和5年度)について別紙資料により説明

次年度会長様：財務報告の増減額について、法定福利費の増加額が大きいと感じる。

管理者：グループホームの人員費は法人のワークセンターやすぎと按分しており、

その職員配置でこのような数字となっています。

次年度会長様：法人内の按分の問題かもしれないが、給与・賞与と法定福利費の増減額の差が大きいと感じる。バランスも考慮して処理することが望ましいと感じる。

また、減価償却費の増減額も大きいと感じる、税理士任せにせず精査することが

望ましいと感じる。

5. 出席者からのご意見、ご要望

自治会長様：近隣所住民から、GHに関する意見や要望は特に上がっていない。

クリンデンデイや若生町祭りにも参加してもらい、交流の場も持つことができていると感じる。

サビ管：今後も行事等には参加させていただきたい。また、災害時を想定した連携体制を強化していただけたら良い。

ご家族様：地域の方の顔を見て、意見や考えが聞けたので安心しました。

ご利用者様：特に意見はないが、何とか(GHの生活を)やっています。

市職員：特に地域の方からの苦情もなく、行事等で交流も図れている様子であるため、今後も良好な関係を築けると良いと感じた。

ご家族様：いつもお世話になっていきます。今後ともよろしくお願ひします。

6. 閉会

令和6年11月25日

記録作成者：管理者